

わたしたちは、南風原町の新しい政治リーダーを目指す赤嶺リュウトさんを応援しています。



京都府与謝野町長
前全国若手町村会長
山添 藤真



秋田県大館市長
全国最年少市長・28歳
石田 健佑



岐阜県美濃加茂市長
元全国最年少市長
藤井 浩人



琉球アスティーダ
スポーツクラブ副代表取締役
早川 周作



株式会社okaraokara
共同代表
崎濱 花鈴/知念 杏珠



沖縄松涛館館長
春田 憲佑



社会福祉法人 愛恵福祉会
よなほ保育園 園長
前城 恵子



肉屋サンクローズ
オーナー
下里 祐太



株式会社ひだまり
代表取締役
新垣 大地



新聞自動車整備工場
自動車整備士
阿嘉 克次



南風原町議会議員
伊佐 園恵



南風原町議会議員
大宜味 洋文



南風原町議会議員
照屋 ひとし



オリバー美容形成外科
院長
川崎 雅人



株式会社Edift
代表取締役
太田 守尚

※所属・職名等は全て2026年3月時点



発行：赤嶺リュウト（あかみね・りゅうと）

〒901-1111 南風原町宇兼城695-4 info@ryuto-akamine.com

プロフィール：2001年1月27日生まれ（25歳）、2026年3月琉球大学理学部卒業。沖縄県南風原町で生まれ育ち、現在も妻と二人で町内に在住。北丘小学校・南風原中学校と進み、2019年に知念高校を卒業して同年、琉球大学に入学。2021年に大学を休学して町内で学習塾を立ち上げ、小中学生向けの個別指導を行う。塾生たちの学びや成長する姿に寄り添い、その保護者とも対話を重ねていく中で、すべての世代が個性・能力を発揮し活躍できる「人を育む」地域政治を担いたいという想いが芽生え、生まれ育った南風原町の政治リーダーを志す。

一緒に南風原の未来をつくりませんか？

赤嶺リュウトの活動を応援してくださる後援会会員を募集しています。南風原の未来を考える仲間として、ぜひご参加ください。また、公式LINEにて情報を発信いたします。ぜひご登録ください。

活動をご支援ください。

皆さまからのご寄付は、地域活動や情報発信などの大切な活動資金として活用させていただきます。温かいご支援をよろしくお願いいたします。

ホームページ LINE公式 Instagram



南風原を日本一
“人を育む”まちへ



2001年1月 生まれ 25歳

赤嶺 リュウト

あなたとつくる
南風原の未来

※このチラシは、赤嶺リュウトの活動や考えを広く知ってもらうための発行物であり、特定の組織・団体等とは関係がありません。

「政治は変わらない」そう思っていませんか？

若いリーダーが動けば、地方からでも社会は変えられる。

トークイベント「はえばる未来会議」に登壇！

去った2月22日(日)に地域の課題と政治の可能性について語り合うトークイベントに登壇しました。会場では、「今なぜ若い政治リーダーが必要なのか」というテーマについて、多くの地域住民と意見を交わしました。

実際に変わった出来事

イベントでは、障がいのある子どもの通学支援についての実例などが紹介されました。

通学が困難な状況にあった子どもに対し、保護者や地域の声を受け、行政が支援に動いたケースです。その結果、子どもが安心して学校に通える環境が実現しました。

あなたとつくる政治

政治に対して「自分には関係ない」「どうせ変わらない」という声をよく聞きます。しかし、若い市長・町長の決断一つで住民の声が届くようになり、住民が参加できる政治を実現できます。つまり、「リーダーが変われば、あなたも政治に参加できる。」

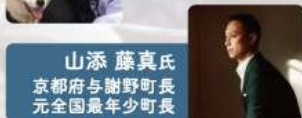
若いリーダーが変える未来

しがらみのない若い世代のリーダーが誕生すれば、既存のやり方にとらわれず、住民の声が届くひらかれた政治をつくることができます。そして、地方からでも社会を大きく変えられる。その変化は、すでに全国各地で始まっています。

スペシャルゲスト



石田 健佑氏
秋田県大館市長
全国最年少市長



山添 藤真氏
京都府与謝野町長
元全国最年少町長

主要政策

学び合い、伝え合う地域ネットワーク

※ 主要政策の一部です

支え合うネットワーク

子どもの数に対して学校が少なく大人の目が行き届きにくい一方、孤独を感じ交流を求める町民が増えています。この両者が支え合い、学び合う新しい地域ネットワークを構築します。

孤立対策×保育サービス

時間に余裕のある高齢者と幼児・子ども世代の交流の場をつくり、町民の孤立対策・活躍機会づくりと新しい保育サービスを両立させます。

町民活躍の機会創出

町民一人ひとりの得意分野が発揮される地域交流活動(例えば地域クラブや子ども食堂など)を応援し、地域の中での新しい役割と活躍の機会を創出します。

コミュニティスクール推進

学校にすべてを押し付けず、保護者や地域住民が積極的に参画し放課後の活動などを充実させていく、コミュニティスクール(学校運営協議会制度)を推進します。

新しい「祭り」づくり

町民が区域や世代を越えて参加し、町が一体となる新しい「祭り」を創出することで、誰もが出演と役割を持てるまちづくりを行います。

情報発信・デジタル化

行政サービスが町民に分かりやすく伝わる情報発信やデジタル化を徹底し、町民との対話の場を常につくることで、想いを伝え合える身近な政治を実現します。

豊かな住環境を活かし、「人への投資」と「対話・情報発信」を徹底！
すべての町民が生涯活躍し、子どもたちが希望を持てるまち南風原をつくります。

日本一「人を育て」まち。その対象は子どもだけでなく、若者も、子育て世代も、高齢者も、このまちで暮らす全ての町民です。これまでの距離がある政治から、誰もが参加しやすくなるようなワクワクする開かれた政治を目指し、情報発信を土台に町民と共に育むまちづくりに全力を尽くします。そして、町民との継続的な対話を大切に「あなたの近くにもいつでも頼れる・参加できる政治がある」を南風原町の日常にします。

幅広い世代の方に集まっていただきました！

トークイベント終了後、参加者の皆さんにアンケートを実施しました。町内外から幅広い年代の方が参加し、政治やまちづくりについて多くの率直な意見や感想が寄せられました。



今回のイベントもやはり政治参加に積極的な人が多いと感じた。その点、意見はあるけど言いとどまっている人も多いと思うから、無作為に手紙を送ってイベントの開催は、裁判員制度のように参加のきっかけにもなってとてもいいと思った。

出勤途中に南風原町役場で演説されているお姿を見て、実際にお会いしてどんな考えを持たれている方なのか知りたくて今回参加させていただきました。まさに若い力で南風原町をより良く変化させようという思いを強く感じ、好印象でした。

参加した皆さんにリゅうとさんの意気込みが充分伝わったと思う。あとは勝ち抜くことと今後の具体的な取り組み。実際に示していくのは簡単ではないけれど、リゅうとさんならできる、そう信じています。

※ アンケート内容の一部抜粋

イベント情報

対話集会 3月22日(日曜日) 4月5日(日曜日)
AM10:30~AM11:30 南風原中央公民館(2階研修室)

宮平後援会・集会 3月19日(木曜日) 3月26日(木曜日)
PM18:30~PM19:30 宮平公民館

大トークイベント 4月12日(日曜日) PM16:30~PM18:30
南風原中央公民館(黄金ホール)

宮平で27年、地域に支えられて

宮平で27年続く美容室「カットスタジオサバース」。
祖父母が始めたこの店を、現在は父が二代目として営んでいます。子どもの頃から、店には地域の皆さんが集まり、髪を切りながら笑い声や会話が絶えない、温かい場所でした。
私にとって美容室は、ただ髪を切る場所ではなく、人と人がつながる場所でもありました。「大きくなったね」
そう声をかけてもらいながら、私は地域の皆さんに見守られて育ちました。
祖父母から父へ、そして地域の皆さんとともに続いてきたこの場所。
この町に育ててもらった一人として、
今度は私が、南風原の皆さんに少しでも恩返しできればと思っています。



琉球大学を卒業！ 学びの経験を、地域の力に。

3月24日に、琉球大学理学部海洋自然科学科を卒業しました。大学では錯体化学の研究に取り組み、物質の性質やその仕組みについて学んできました。
研究は一人で進められるものではなく、先生方のご指導や研究室の仲間との議論や助け合いの中で、少しずつ成果を積み重ねてきました。また途中で休学し、学習塾の運営も始めました。多くの人に支えられてここまで歩んでこられたことに、心から感謝しています。
その経験を胸に、これからは地域の中で人と人が支え合えるつながりを大切にしながら、地域のために力を尽くしていきたいと思っています。

